

科目名	情報システム演習2 (J1)	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	石川 洋、上西園 武良	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-410009	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。</p> <p>情報システム演習2では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術についてWebサイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。</p> <p>まず、Webの仕組みを理解し、実際にHTMLとスタイルシート(CSS)を用いてWebページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScriptによるプログラミングを取り入れたWebサイト作成を行う。さらにフォームを用いたWebサイト作成についても学習する。</p> <p>データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。</p>				
学修到達目標	<p>1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成したWebサイトにより評価）</p> <p>2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	研究室配属に関する説明、および、システム演習2のイントロダクション
第2回	D分野：HTML(1)：HTMLの説明、基本タグの使い方
第3回	D分野：HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

第4回	D分野 : CSS (1) : CSSの説明、基本的なスタイルの使い方
第5回	D分野 : CSS (2) : spanとdivタグ
第6回	D分野 : CSS (3) : idとclass
第7回	D分野 : JavaScript (1) : JavaScriptの説明、プログラミングの基礎の説明
第8回	D分野 : JavaScript (2) : 分岐と繰り返し
第9回	D分野 : JavaScript (3) : 関数とイベント
第10回	D分野 : フォーム (1) : フォームの説明、フォームの作り方
第11回	D分野 : フォーム (2) : JavaScriptからフォームの利用
第12回	D分野 : Webサイト作成 : これまで学習した内容をふまえ、各自でWebサイトを作成する
第13回	D分野 : 作成したWebサイトの発表 : 各自で作成したWebサイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。

第14回	B分野：一対の標本による平均の検定
第15回	B分野：分散分析
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキストを参照し、授業で行われることを確認する。また必要に応じ、不明な点を予めインターネット等から調査しておく。2時間以上の予習時間が必要である。
【復習】時間・内容	授業中に作成したHTML、CSS、JavaScriptを意図をもって変更し、その意図通りの動作をすることを1つずつ確認する。2時間以上の復習時間が必要となる。

成績評価	
評価基準・方法	分野ごとでは、次のようにD分野部分は85%、B分野部分は15%の割合で成績を評価する。 D分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25% B分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%
フィードバック方法	提出された課題は、その都度フィードバックされる。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	テキストを配布する。
受講上の留意点等	各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : E

科目名	情報システム演習2 (J2)	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	宇田 隆幸、上西園 武良		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-410009	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。</p> <p>情報システム演習2では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術についてWebサイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。</p> <p>まず、Webの仕組みを理解し、実際にHTMLとスタイルシート(CSS)を用いてWebページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScriptによるプログラミングを取り入れたWebサイト作成を行う。さらにフォームを用いたWebサイト作成についても学習する。</p> <p>データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。</p>				
学修到達目標	<p>1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成したWebサイトにより評価）</p> <p>2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	研究室配属に関する説明、および、システム演習2のイントロダクション
第2回	D分野：HTML(1)：HTMLの説明、基本タグの使い方
第3回	D分野：HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

第4回	D分野：CSS(1)：CSSの説明、基本的なスタイルの使い方
第5回	D分野：CSS(2)：spanとdivタグ
第6回	D分野：CSS(3)：idとclass
第7回	D分野：JavaScript(1)：JavaScriptの説明、プログラミングの基礎の説明
第8回	D分野：JavaScript(2)：分岐と繰り返し
第9回	D分野：JavaScript(3)：関数とイベント
第10回	D分野：フォーム(1)：フォームの説明、フォームの作り方
第11回	D分野：フォーム(2)：JavaScriptからフォームの利用
第12回	D分野：Webサイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自でWebサイトを作成する
第13回	D分野：作成したWebサイトの発表：各自で作成したWebサイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。

第14回	B分野：一対の標本による平均の検定
第15回	B分野：分散分析
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキストを参照し、授業で行われることを確認する。また必要に応じ、不明な点を予めインターネット等から調査しておく。2時間以上の予習時間が必要である。
【復習】時間・内容	授業中に作成したHTML、CSS、JavaScriptを意図をもって変更し、その意図通りの動作をすることを1つずつ確認する。2時間以上の復習時間が必要となる。

成績評価	
評価基準・方法	分野ごとでは、次のようにD分野部分は85%、B分野部分は15%の割合で成績を評価する。 D分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25% B分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%
フィードバック方法	提出された課題は、その都度フィードバックされる。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	テキストを配布する。
受講上の留意点等	各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。 教育オープンリソース (https://www.nuis.ac.jp/pub/sp/ed_open_source.html) における「迷路を題材としたプログラミング学習ゲーム」を使用することがある。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : E

科目名	情報システム演習2 (J3)	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	河原 和好、近山 英輔		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-410009	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。</p> <p>情報システム演習2では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術についてWebサイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。</p> <p>まず、Webの仕組みを理解し、実際にHTMLとスタイルシート(CSS)を用いてWebページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScriptによるプログラミングを取り入れたWebサイト作成を行う。さらにフォームを用いたWebサイト作成についても学習する。</p> <p>データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。</p>				
学修到達目標	<p>1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成したWebサイトにより評価）</p> <p>2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	研究室配属に関する説明、および、システム演習2のイントロダクション
第2回	D分野：HTML(1)：HTMLの説明、基本タグの使い方
第3回	D分野：HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

第4回	D分野：CSS(1)：CSSの説明、基本的なスタイルの使い方
第5回	D分野：CSS(2)：spanとdivタグ
第6回	D分野：CSS(3)：idとclass
第7回	D分野：JavaScript(1)：JavaScriptの説明、プログラミングの基礎の説明
第8回	D分野：JavaScript(2)：分岐と繰り返し
第9回	D分野：JavaScript(3)：関数とイベント
第10回	D分野：フォーム(1)：フォームの説明、フォームの作り方
第11回	D分野：フォーム(2)：JavaScriptからフォームの利用
第12回	D分野：Webサイト作成：これまで学習した内容をふまえ、各自でWebサイトを作成する
第13回	D分野：作成したWebサイトの発表：各自で作成したWebサイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。

第14回	B分野：一対の標本による平均の検定
第15回	B分野：分散分析
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキストを参照し、授業で行われることを確認する。また必要に応じ、不明な点を予めインターネット等から調査しておく。2時間以上の予習時間が必要である。
【復習】時間・内容	授業中に作成したHTML、CSS、JavaScriptを意図をもって変更し、その意図通りの動作をすることを1つずつ確認する。2時間以上の復習時間が必要となる。

成績評価	
評価基準・方法	分野ごとでは、次のようにD分野部分は85%、B分野部分は15%の割合で成績を評価する。 D分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25% B分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%
フィードバック方法	提出された課題は、その都度フィードバックされる。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	テキストを配布する。
受講上の留意点等	各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : E

科目名	情報システム演習2 (J4)	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	中田 豊久、近山 英輔	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-33-B-2-410009	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報システム演習は、各自が主体的に「情報システム」を創造し、または情報システムを活用し、情報を創造するために必要になるであろう基礎的な方法・概念の取得を目的とした演習である。</p> <p>情報システム演習2では、情報システムを開発するために必要な数量的なデータ解析の仕方と、コンピュータと通信技術についてWebサイト作成を通して基本的な内容を具体的に学習する。</p> <p>まず、Webの仕組みを理解し、実際にHTMLとスタイルシート(CSS)を用いてWebページを作成する手法を学習する。続いて、JavaScriptによるプログラミングを取り入れたWebサイト作成を行う。さらにフォームを用いたWebサイト作成についても学習する。</p> <p>データの解析については、平均の検定、分散分析について学ぶ。</p>				
学修到達目標	<p>1) 情報システムを分析し、設計するためのさまざまな手法を使って、問題解決に応用できるデザイン能力を身につける（レポートおよび作成したWebサイトにより評価）</p> <p>2) 情報システムを有効に活用するための基礎的な考え方を、演習を通して身につける（演習時に提出する課題により評価）</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	研究室配属に関する説明、および、システム演習2のイントロダクション
第2回	D分野：HTML(1)：HTMLの説明、基本タグの使い方
第3回	D分野：HTML(2)：リンクの作成、画像の表示、テーブルの作成

第4回	D分野 : CSS (1) : CSSの説明、基本的なスタイルの使い方
第5回	D分野 : CSS (2) : spanとdivタグ
第6回	D分野 : CSS (3) : idとclass
第7回	D分野 : JavaScript (1) : JavaScriptの説明、プログラミングの基礎の説明
第8回	D分野 : JavaScript (2) : 分岐と繰り返し
第9回	D分野 : JavaScript (3) : 関数とイベント
第10回	D分野 : フォーム (1) : フォームの説明、フォームの作り方
第11回	D分野 : フォーム (2) : JavaScriptからフォームの利用
第12回	D分野 : Webサイト作成 : これまで学習した内容をふまえ、各自でWebサイトを作成する
第13回	D分野 : 作成したWebサイトの発表 : 各自で作成したWebサイトを発表する。説明を記述したレポートを提出する。

第14回	B分野：一対の標本による平均の検定
第15回	B分野：分散分析
第16回	なし

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキストを参照し、授業で行われることを確認する。また必要に応じ、不明な点を予めインターネット等から調査しておく。2時間以上の予習時間が必要である。
【復習】時間・内容	授業中に作成したHTML、CSS、JavaScriptを意図をもって変更し、その意図通りの動作をすることを1つずつ確認する。2時間以上の復習時間が必要となる。

成績評価	
評価基準・方法	分野ごとでは、次のようにD分野部分は85%、B分野部分は15%の割合で成績を評価する。 D分野：小テスト・授業内レポート 25%、宿題・授業外レポート 15%、成果発表 20%、演習 25% B分野：小テスト・授業内レポート 5%、宿題・授業外レポート 5%、演習 5%
フィードバック方法	提出された課題は、その都度フィードバックされる。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	テキストを配布する。
受講上の留意点等	各授業の実施順序は、クラスによって変わることがある。 教育オープンリソース (https://www.nuis.ac.jp/pub/sp/ed_open_source.html) における「迷路を題材としたプログラミング学習ゲーム」を使用することがある。
JABEE	関連する学習・教育到達目標 : E